

科目名称	看護研究	学年学期	単位数	時間数
		第2学年 後期	2	45
担当教員	野本 ひさ	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

看護研究の意義、研究成果が看護実践の質の向上に貢献することを理解する。

既存の原著論文等を講読することにより研究のすすめ方、まとめ方を学習する。また、簡単な実験研究や調査研究、質的研究を体験し、研究プロセスと研究方法を理解する。

【2】学習目標

1. 看護研究の意義と方法を理解できる。
2. 既存の原著論文等を読むことにより、研究論文のまとめ方が理解できる。
3. 看護研究の方法、データの分析方法について理解できる。
4. 研究結果の報告、活用について理解できる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- ☐ 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- ☒ 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- ☐ 3. 地域の特性を看護に生かす力
- ☐ 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- ☒ 5. 主体的に学び続ける力

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	看護研究とは 研究過程の概観	講義・演習
2	看護研究のはじめ方	講義・演習
3	看護研究における科学的追及	講義・演習
4	研究デザイン	講義・演習
5	看護研究のプロセス	講義・演習
6	看護研究と文献活用	講義・演習
7	看護研究における倫理的配慮	講義・演習
8	文献検討の意義と方法	講義・演習
9	研究過程における文献検討の意義 医中誌を用いた文献検討を行い、文献カードを作成	
10	実験研究①	講義・演習
11	実験研究の文献を読みクリティック 実験研究のデザインを使った実験によるデータ収集	
12	実験研究②	講義・演習
13	実験研究のデザインを使った実験によるデータ収集	
14	調査研究①	講義・演習
15	調査研究の文献を読みクリティック	
16	調査研究①	講義・演習
17	調査研究の文献を読みクリティック	
18	調査研究②	講義・演習
19	調査研究のデザインを使ったアンケート調査によるデータ収集	
20	質的研究①	講義・演習
21	質的研究の文献を読みクリティック	
22	質的研究② 観察法による質的データ収集	講義・演習
23	試験・まとめ	

【5】評価方法

授業への参加度（演習の取り組み）、レポート等により総合的に評価する。

【6】教科書

坂下玲子:系統看護学講座 別巻 看護研究(第2版) 医学書院 2023(電子版)

【7】 参考書

講義・演習時に資料を配布する

【8】 受講生へのメッセージ

この科目では、看護研究のすすめ方、まとめ方を学習します。簡単な実験研究や調査研究、質的研究を体験し、研究プロセスと研究方法を理解できるようにしましょう。